

解答

一

- 問一 A 設定 B 宇宙 C 状態 D 回路 E 感謝
問二 I オ 2 ウ 3 カ 4 エ
問三 天国
問四 イ
問五 ウ
問六 不自由なく、たいていのことは許される社会にいるのに、息が詰まり、解放された気分にならないこと。
問七 自由がありすぎて自由がない
問八 イ
問九 ア
問十 私は小学校の低学年までは、毎日決められた時間に勉強することになっていたが、高学年になって、自分の好きな時間に勉強するように変わった。きちんと時間の管理をしながら、怠けることなく日々勉強を続けることは大変だが、自分で決めた約束を守ることは、自分自身を成長させ、大人に近づくことになると考える。

二

- 問一 I オ 2 カ 3 ク
問二 a あご b まゆ
問三 A エ B ウ C ア
問四 自分で負い目に思っていたことを、「俺」に言われたから。
問五 ア
問六 ウ
問七 エ
問八 周りの期待に必死に応えようと、甲子園を目指して頑張ったが、そのために怪我をし、未来を失った悔しくてやり場のない思い。
問九 エ
問十 自分は間違ったことは言っていないが、益岡に対して言い過ぎたことを後悔し、取り返しがつかないことをしたと思っているから。

解説

一

- 問三 「花畑」の前に、「ドアの向こうが地獄なのか」という記述があることから、地獄とは対照的な場所をさす「天国」が適切です。
問六 次の段落に――④の具体的な説明があります。不自由なこともなく、たいていのことならやっても許される社会にいるのに、なんとなく息が詰まるというか、解放された気分にならないという気持ちになったことはないだろうかという内容を、設問の指示に従ってわかりやすくまとめます。

二

- 問六 ――③の前から理由がわかります。前は元々主将で強打者の益岡が、チームを率いて甲子園に行こうと盛り上げていたが、今の益岡は野球ができない状況で、一試合に一打席回ってくるかわからない機会をあてにして、しがみつこうとしていることから、選択肢ウが選べます。
問十 ――⑦の前後から須藤の気持ちを読み取ります。「言葉は悪かったかもしれないけど、間違ったことは言っていない」と言いつつも、あんなこと言うつもりじゃなかった。後悔してももう遅い。いったん、口に出したものはもう取り消せないと思っっている様子から、これらの内容を設問の指示に従ってまとめます。